

湿地でミミカキグサを観察する生徒ら。枠内は県のレッドデータブックで準絶滅危惧とされるノカンゾウ。四日市市西坂部町の御池沼沢植物群落で



## 貴重な食虫植物など観察

### 四日市「御池沼沢植物群落」で大池中

四日市市の大池中中学校の生徒らは8、10日、国の天然記念物に指定されている同市西坂部町の湿地「御池沼沢植物群落」を探索した。貴重な食虫植物などを観察し、湿地の多様性を守るために必要な知識を学んだ。

御池沼沢植物群落は、東部と西部に分かれ、計約4万9307平方メートル。県内で準絶滅危惧とされるノカンゾウなど、希少な湿地植物が自生する。寒地性のヤチヤナギと、暖地性のミクリガヤが共存しており、日本の植物分布の境界とも考えられる。

同校では昨年からの理科の授業で観察学習を始めた。市文化課の石田智洋さん

(45)を講師に迎え、1年生計156人が校庭に隣接する西部の湿地に入った。生徒らは、ピンク色の小さな花を咲かせた食虫植物トウカイコモウセンゴケを観察。粘り気を帯びた葉に目を凝らし、虫を捕まえる植物の知恵を学んだ。

草丈10センチほどの食虫植物ミミカキグサの群生地も訪れた。栄養が少なく日光が当たる環境で育つため、一帯に生い茂ったヨシを刈り取る作業が重要だという。

田中陸登さん(12)は「貴重な体験ができて有意義だった。秋には(東海地方固有の)シラタマホシクサを見てみたい」と語った。

(丹羽ありさ)

湿地でミミカキグサを観察する生徒ら。枠内は県のレッドデータブックで準絶滅危惧とされるノカンゾウ。四日市市西坂部町の御池沼沢植物群落で



## 貴重な食虫植物など観察

四日市「御池沼沢植物群落」で大池中

四日市市の大池中中学校の生徒らは8、10日、国の天然記念物に指定されている同市西坂部町の湿地「御池沼沢植物群落」を探索した。貴重な食虫植物などを観察し、湿地の多様性を守るために必要な知識を学んだ。

御池沼沢植物群落は、東部と西部に分かれ、計約4万9307平方メートル。県内で準絶滅危惧とされるノカンゾウなど、希少な湿地植物が自生する。寒地性のヤチ

ヤナギと、暖地性のミクリガヤが共存しており、日本の植物分布の境界とも考えられる。

同校では昨年からの理科の授業で観察学習を始めた。市文化課の石田智洋さん

(45)を講師に迎え、1年生計156人が校庭に隣接する西部の湿地に入った。生徒らは、ピンク色の小さな花を咲かせた食虫植物トウカイコモウセンゴケを観察。粘り気を帯びた葉に目を凝らし、虫を捕まえる植物の知恵を学んだ。

草丈10センチほどの食虫植物ミミカキグサの群生地も訪れた。栄養が少なく日光が当たる環境で育つため、一帯に生い茂ったヨシを刈り取る作業が重要だという。

田中陸登さん(12)は「貴重な体験ができて有意義だった。秋には(東海地方固有の)シラタマホシクサを見てみたい」と語った。

(丹羽ありさ)



湿地でミミカキグサを観察する生徒ら。枠内は県のレッドデータブックで準絶滅危惧とされるノカンゾウ＝四日市市西坂部町の御池沼沢植物群落で



## 貴重な食虫植物など観察

### 四日市「御池沼沢植物群落」で大池中

四日市市の大池中中学校の生徒らは8～10日、国の天然記念物に指定されている同市西坂部町の湿地「御池沼沢植物群落」を探索した。貴重な食虫植物などを観察し、湿地の多様性を守るために必要な知識を学んだ。

御池沼沢植物群落は、東部と西部に分かれ、計約4万9307平方メートル。県内で準絶滅危惧とされるノカンゾウなど、希少な湿地植物が自生する。寒地性のヤチヤナギと、暖地性のミクリガヤが共存しており、日本の植物分布の境界とも考えられる。

同校では昨年からの理科の授業で観察学習を始めた。市文化課の石田智洋さん

(45)を講師に迎え、1年生計156人が校庭に隣接する西部の湿地に入った。

生徒らは、ピンク色の小さな花を咲かせた食虫植物トウカイコモウセンゴケを観察。粘り気を帯びた葉に目を凝らし、虫を捕まえる植物の知恵を学んだ。

草丈10センチほどの食虫植物ミミカキグサの群生地も訪れた。栄養が少なく日光が当たる環境で育つため、一帯に生い茂ったヨシを刈り取る作業が重要だという。

田中陸登さん(12)は「貴重な体験ができて有意義だった。秋には(東海地方固有の)シラタマホシクサを見てみたい」と語った。

(丹羽ありさ)